

私立大学図書館協会 2007年度第2回東地区部会役員会
議事要録

日 時:2008年1月25日(金) 14:00~15:45

場 所:帝京大学八王子キャンパスメディアライブラリーセンター2階(グループ学習室)

出席者:会長校<中央大学(荒木、工藤)>、監事校<駒澤大学(佐藤)>、研究部理事校<東京経済大学(小野、久世)>、月例会・名簿担当理事校<國學院大学(古山)>、更新・会報担当理事校<共立女子大学(久保、佐々木)>、東北・北海道地区担当<北星学園大学(宮川)>、部会長校<帝京大学(岡田、南、中嶋、山下、川北、中満)>

欠席者:中央大学(冨田)

配布資料:

議事次第

「私立大学図書館協会東地区部会 2007年度第2回役員会資料」(以下、「役員会資料」と記載)

(内容訂正(P.15)収入の部・支出の部「科目」の右空欄に「08年度予算(A)」と挿入)

<資料編>

資料1:「私立大学図書館協会2007年度第2回常任幹事会」資料

資料2:第1回役員会出席者名簿&座席表

資料3:役員校等選考に関する申し合わせ事項

資料4:私立大学図書館協会東地区歴代役員校一覧

議事に先立ち、部会長校帝京大学(岡田)より挨拶の後、議事進行は、部会長校帝京大学(南)が担当した。

議事:

1. 報告事項

(1) 東地区部会関係

2007年度東地区部会会務報告

部会長校帝京大学(南)より、役員会資料(p.3-5)に基づき、ア.加盟校数(次年度加盟予定校)、イ.活動報告について報告された。

2007年度東地区部会研究部活動報告

研究部担当理事校東京経済大学(小野)より、役員会資料(p.6-10)に基づき、ア.運営委員会、イ.合同会議、ウ.研究会(研究分科会報告大会)、エ.研修委員会、オ.研修会、カ.研究分科会の各活動について報告された。

(2) 部会関係及び協会関連

第2回常任幹事会報告

部会長校帝京大学(南)より、12月7日(金)に開催された常任幹事会について、資料1に基づき、主に以下の協議事項について報告された。

- ・ 協会組織図について(実態に合わせた新組織図を協会ホームページに掲載した)

- ・ 同一法人複数大学の加盟・会費について(工藤委員)
- ・ 私立大学図書館協会 WWW 情報資源提供サービス利用細則の改正について
- ・ 2007-2008 年度行事・会議予定について
- ・ 2007 年度一般会計・特別会計支出状況について
- ・ 第 69 回(2008 年度) 総会・研究大会について
- ・ 2008 年度一般会計・特別会計予算について
- ・ 「会則」第 12 条、13 条役員校選出部分の対応について
- ・ IFLA 退会について

2008 年度より退会とすることが承認されたが、3/7 の東西合同会議にて最終的に承認を取る予定。国立国会図書館に退会の連絡を相談したところ、退会を申し出た年の会費は IFLA の規程で免除されない、また、会費は年度でなく年単位であるとの説明を受けた。2008.1-12 の会費を納入して 2009 年退会とする方向である。(工藤委員)

2. 協議事項

(1) 2007 年度東地区部会中間決算について

部会長校帝京大学(中嶋)より、役員会資料(p.12)に基づき、中間決算が報告された。協議の結果、承認された。

(2) 2007 年度東地区部会研究部中間決算について

研究部担当理事校東京経済大学(小野)より、役員会資料(p.13)に基づき、中間決算が報告された。協議の結果、承認された。

(3) 2008 年度東地区部会事業計画(案)及び予算(案)について

部会長校帝京大学(中嶋)より、役員会資料(p.14-15)に基づき、報告され承認された。

事業計画(案)について

・東地区部会総会・館長会・研究講演会日程を 2008 年 6 月 13 日(金)に決定した。会場は玉川大学。2008 年度は西地区の部会総会も同日開催となる。

・第 2 回役員会は従来 1 月第 4 金曜日に行われているが、2008 年度は部会長校帝京大学の都合により第 4 木曜日にあたる 1 月 29 日(木)に開催したいと提案され、次回の役員会までに意見を頂くこととした。

予算(案)について

部会総会費は役員・スタッフの増により弁当代を追加計上したので、昨年度より増額されている。この分は印刷費、通信費の削減より計上した旨説明があった。

(4) 2008 年度研究部活動計画(案)及び予算(案)について

研究部担当理事校東京経済大学(小野)より、役員会資料(p.16-17)に基づき、報告され承認された。

活動計画(案)について

・研修委員会については、開催回数を若干増やしている。

・研究分科会の「理工学研究分科会」は休会しているが新規募集中なので含め、13 研究分科会の実施とした。

予算(案)について

運営委員会費、運営委員・分科会代表者合同会議、研修委員会費は、例年理事校の持ち出しがあり、是正のため増額した。

(5) 次期研修委員について

研究部担当理事校東京経済大学(小野)より、役員会資料(p.18)に基づき、2008/2009 年度研修委員が未定なので、承認については部会長校への一任したい旨報告され、了承された。

(6) 2008 年度総会、館長会及び研究講演会の開催(案)について

部会長校帝京大学(中嶋)より、役員会資料(p.19)に基づき、2008 年 6 月 13 日(金)に「2007 年度東地区部会総会・館長会及び研究講演会」が玉川大学で開催される予定との報告がされ、承認された。会長校の中央大学は館長が東西どちらに出席するか、検討中。決定次第役員会にて報告する。(荒木委員)

(7) 役員校等選考に関する申し合わせ事項改訂について

部会長校帝京大学(中嶋)より、資料 3 に基づき以下の点について提案され協議の結果承認された。

協会役員校

理事校の担当業務(更新担当・月例担当)は慣例に従い行っていたが、実態に即し明文化する。名簿担当は業務を行っていないので削除する。

大学図書館協力ニュース編集委員会

編集委員の主査を国私の順と記載されていたが、実態に即し修正追記、明文化する。

その他

以下の項目を 2010 年次期役員校選考委員会において改正できるよう準備することで承認された。

- ・ 日本図書館協会業務として「図書館年鑑編集委員」の項目を含める。
- ・ 2009 年 IFLA 脱退に伴う削除・改訂

(8) 次期部会長校の次年度役員会出席について

部会長校帝京大学(中嶋)より、2008 年度第 1 回役員会から、次期部会長校の青山学院大学が役員会・役員会事務連絡会にオブザーバーとして参加する旨報告があり、承認された。

3. 懇談事項

(1) 東地区部会役員校、総会当番校の選出について

部会長校帝京大学(中嶋)より以下のように報告があった。

2009 年度総会当番校に獨協大学の内諾を得ている。2010 年度は明星大学に交渉中である。2011 年度に候補に挙がっていた立教大学は新図書館のオープンが延期されたため、2013 年度に変更したいとの連絡を受けている。

2011・2012 年度の各理事校を早急に決定する必要があるため、各自候補があれば部会長校まで

知らせてほしい旨の依頼があった。(資料4参照)

(2) 東北・北海道地区担当理事校の選出状況について

東北・北海道地区担当理事校北星学園大学(宮川)より、

「北海道地区私立大学図書館協議会」という組織の活動が中心となっているが、この協議会の幹事館が職員数や地理的条件によって札幌圏の6大学に固定されている。私図協理事校もこの6大学からの選出とならざるを得ず候補館が少ない。

協議会の代表幹事館も除くと理事校候補が実質4校しかない。

役員会出席にかかる旅費の計上が困難である。

上記の事由により、選出難航しているので暫くの猶予をいただきたいとの報告があった。

<質疑応答>

今後北海道地区、東北地区より役員を出す意義や目的について役員会にて検討して頂きたい。(宮川委員)

相互の協力で現行どおりの派遣をすることということで、前部会長校より引き継いでいる。(中嶋委員)

役員会を電子会議または、会場を北海道にする機会を作るなどの対応はどうか。(佐藤委員)

東北・北海道地区担当理事校の役員会への出席回数を減らしていただくとしても、役員として参加いただくことに意義がある。出張費の問題については、資料を事前に配付し、部会長校へあらかじめ意見を伝えることで、出席回数を減らすことが可能ではないか。(工藤委員)

今後も役員校として協力することを前提に、参加方法など具体的な改善案を早急に考えていきたい。(南議長)

東北地区の意向も確認し、今後この件に関して役員会で検討していく事とした。

以上